

朝の会で1日のスタート

学級の1日は、8時15分からの朝の会で始まります。1日の始まりをスムーズにしたり、学級への帰属意識を高めたりするためにも、朝の会は大切です。

担任の先生と元気よくあいさつした後、健康観察をします。新型コロナウイルス感染症対策のため、担任は、各家庭で体温や体調を記入した健康観察カードを朝の会の前に確認しています。朝の会では、再度、児童自身が体調を報告することで健康状態を確認します。

各クラスで歌も歌います。5月は「さんぽ」という曲です。「あるこう あるこう わたしはげんき ……」とマスクを付けながら、リズムに乗って明るい表情で歌っている様子に心が和んできました。声を出して歌を歌ったりすることで全員の気持ちが一つになり、「今日もこのクラスで一日頑張ろう」「友達と仲良く過ごそう」と子どもたちの意識を高めているでしょう。

朝の会のメニューは、おおよそ共通していますが、学年独自の部分もあります。5年生のクラスでは、その日の当番がスピーチをしていました。5年生になって挑戦したいことや目標を数分にまとめて話します。順番が巡ってきた児童は、聞き手に分かってもらえるよう言葉を紡いでいきます。緊張することもあります。クラスでの発表の積み重ねにより、聞き手を意識した話ができるようになる表現力の育成にもつながっています。きっと、人前で話すことに抵抗がなくなるとともに、お互いの理解が深まり、共通の話題が増えることでしょう。

2年生のクラスでは、「がぎぐげごの うた」を全員で音読していました。「がぎぐげ ごぎぐげ がまがえる ……」とリズムのある詩の音読で、声を揃える一体感を味わっていました。言葉の楽しさを体験しながら、クラス全員で声を出して、1日と一緒に頑張ろうとする気持ちを高めています。

